

第3回 青森市総合計画審議会 第4分科会 議事要旨

【日 時】平成30年8月22日（水）9時45分～10時40分

【場 所】青森市役所本庁舎 3階 福利厚生室

【出席者】井上 隆 分科会長、大坂 美保 委員、木村 克己 委員
本田 明弘 委員、森内 忠良 委員 計5名

【欠席者】なし

【オブザーバー・傍聴者等】なし

【関係部局】廣津総務部参事危機管理監危機管理課長事務取扱、竹内環境部参事廃棄物対策課長事務取扱、西澤環境政策課長、西村下水道総務課長、松尾下水道整備課副参事、石郷都市整備部参事住宅まちづくり課長事務取扱、本堂建築指導課長、高村公園河川課長、佐々木道路維持課長兼道路補修事務所長、熊谷用地課長、星出建築営繕課長、遠嶋都市政策課副参事、小田道路建設課副参事、赤坂企業局交通部理事次長事務取扱 計14名

【事務局】館山企画調整課長、角田企画調整課主事、久保企画調整課主事 計3名

【配付資料】

- ・次第
- ・基本構想答申前後の主なスケジュール（資料1）
- ・各行政分野の課題及び目指すべき方向性（資料2）
- ・新総合計画と旧総合計画の基本構想構成比較表（案）（資料3）
- ・新たな青森市総合計画基本構想（素案）第3章施策の大綱・第4章推進体制（資料4）

【会議の概要】

○配付資料を基に、事務局から説明した上で、各委員が意見を出し合った。

○審議、質疑応答の概要

各行政分野の課題及び目指すべき方向性

（委員）

- ・防災・雪対策に関する目指すべき方向性に、迅速な一次的・二次的な避難、配慮の行き届く男女共同参画の視点を取り入れた避難所について入れていただけないものか。また、現在、市で地域に即した地域避難所設営のマニュアルブックを作成しつつあることから、そのマニュアルの整備についても入れていただきたい。
- ・広義にとらえると、「市民防災の促進」の中に、全部入ると言えば入らなくはない。
- ・広義では、伝わりにくいと思う。
- ・ご意見のとおり、避難状況は、男女で全然違う。女性は特に困っている状況があるが、そこまで具体的に基本構想の段階で書き込むべきなのか、それとも、次の基本計画の段階に置いておくべきなのか、というところだが、書き込むとすれば、目指すべき方向性

の「市民防災の促進」の下になるだろうか。例えばどのような文言がよろしいか。

- ・迅速な一次・二次避難時の対応、配慮の行き届く男女共同参画の視点、地域に即した避難所マニュアルの整備といったものが良いと考える。
- ・確かに、男女共同参画は非常に分かりやすくてよろしいかと思うが、市民というのは、幼児から高齢者、それから障がい者など、色々な方がいることから、男女だけで括るべきではなく、大きい括り方で市民とした方がよろしいのではないか。この分野で、あまり具体化してしまうと、他のところで障がい者をどうするのか、また、高齢者、病人その他をどうするのかということになる。
- ・そのため、「男女共同参画の視点」の前に「配慮の行き届いた」というところを入れただけである。
- ・男女だけの括りではなく、大きい括り方に変えていかなければいけないと思う。
- ・私もそう思う。避難所での配慮のある避難体制の確立などのところで、男女という文言が出てしまうと、赤ん坊の問題、障がい者の問題、高齢者の問題など、たくさん並べなくてはいけなくなり、大変細かくなってしまう。そのような問題を全部含めて、例えば、避難所でのあり方などの文言を一行か二行追加した方が分かりやすいかと思う。
- ・私も同じ考えである。もう一つ、強いて言えば、今、様々な場所で話題になっているボランティアの活用など、そのような文言を入れた方が良いと思う。
- ・そうすると、「市民防災の促進」で、「災害時において、市民の生命と財産を守るため、官民一体となった自助・共助・公助による地域防災体制の強化を図ります。」の下に、二つ目の目指すべき方向性として、具体的に「配慮の行き届いた避難体制の確立」、「ボランティアの活用」などの文言を、二行程追加した方が良いということによろしいか。文言については委員から、サンプルなどを出していただき、事務局で検討した上で、会長と整理するということによろしいか。（異議ない旨の発言あり）

新総合計画と旧総合計画の基本構想構成比較表（案）

（委員）

- ・旧総合計画の施策の「自然保護活動の推進」について、新総合計画では「身近な里山の保護」と「陸奥湾資源の保全」の2つに分離しているが、この里山と人との関係、もう一つは自然保護の関係というのは、考え方が難しい。里山と謳うと、そこに人が介在しているイメージがあり、人がいなくなった時には、その後その里をどうするのか、その自然保護はどうするのかという大きな問題に繋がる。
- ・「陸奥湾資源の保全」というのは分かりやすいが、「身近な里山の保護」というのは、具体的にどういうイメージなのか。

（事務局）

- ・前の第2回分科会の時にも、里山とはどの山を指すのかというご指摘をいただいたところではあるが、理念的には人々の生活と密接に関わりのある山をイメージしており、例

えば裏山や近所の山などである。

(委員)

- ・具体的にはどのような取組をすれば、里山の保護になるのか。例えば猪が来ないように柵を作るなどということもイメージしてよろしいのか。どのような取組を行おうと事務局で考え、施策名をこのような文言にしたというのがあれば教えていただきたい。

(事務局)

- ・森林に関しては、森林法の改正において、来年度以降、行政が林地台帳を作成することとなったことから、森林の整備についての事業が出てくるかと考えられる。

(委員)

- ・里山は、人が住んでいるところを指すということによろしいか。

(事務局)

- ・人が住んでいるところに近いというイメージである。イメージ的には、少し食べる程度の山菜を取りに行く山など、そのようなものを含めている。

(委員)

- ・里山というのは、行政上、法律上の定義は特にはない。里山と言ったときに、みんなが持つイメージが様々であることから、里山の保護に対する施策のイメージもみんな様々になってしまうと思う。

他の施策については、行政の方も一般市民の方も文言を読むと、具体的なイメージは少しずれても、大体同じようなことをイメージすると思う。教育活動の充実とか、文化財の保存・活用などは、みんなが大体同じようなイメージを浮かべるが、里山の保護については、里山自体がみんな頭に思い浮かぶエリアが様々になることから、どのような取組をするのかについても様々で、一体何をするのだろうかと考えてしまう。ただ、この文言を生かしたいこともある。

- ・事務局の里山に対する意向はすごく分かる。人が介在しないと、人工林も維持出来ない。人工林と言っても、自然の一部であり、その辺の関わりが問題だと思う。そういう言い方をすると、田んぼがあり、植林再開の山があり、そこで人の営みがあって景観も維持されながらという意味だと思う。しかし、そこに建物が建設されると、この里山のイメージは、変わってくるのではないか。そういう意味での捉え方をされると、また、難しい問題が発生しないかという気がする。
- ・もう一方で、逆に、耕作放棄地が増え、民家がなくなり、そこに猪などが出るようなところも、昔は里山だった。
- ・目指すところがどういうものかというイメージも、どういう施策を考えているのかということも、曖昧な感じがする。どういう風に文言を生かすか。

(事務局)

- ・ここ（施策名）については、まだ未定稿であり、基本構想上、具体的に名称も内容も出てこない部分となることから、今後の第2回総括分科会の時に、会長とやり取りさせて

いただき、その後の総会等でまたお示しさせていただければと思う。

(委員)

- ・それでは、ここは保留とする。いずれにしても、陸奥湾資源の保全や、ごみの減量化・リサイクルの強化などは、大体誰もが同じようなイメージを抱くが、身近な里山の保護と言うと漠然として、イメージするものが全部違ってくるといふようなところがあり、論理のレベルが他のところと違うことから、これは保留ということで、事務局の方で少し検討していただきたいと思う。
- ・かがやく街という基本政策の中に、割と伝統的な都市政策の仕事が入っていて、なぜ、これがかがやく街の中に入るのかという違和感が私としてはある。例えば、適正な污水排除・処理の確保、公害対策の推進、衛生的な生活環境の確保であり、下水道整備などがこの中に入るが、それがかがやく街の中に入っている。かがやくと言うと何となく未来思考であり、昔から積み重なってやってきた都市づくりの項目がかがやく街に入るといふのは、私としては少しずれている感じがする。
この伝統的な都市政策のところは、本当はまち創りのところに入るという風に、私はイメージしていたが、第1回総括分科会で、この内容で進めることになったことから、これで進めようと思っている。
- ・全体としては、青森市がこれからやるべきことがほとんど書き込まれているという印象を持つ。

新たな青森市総合計画基本構想（素案）第3章施策の大綱・第4章推進体制

(委員)

- ・資料4の5ページの防災体制・雪対策の充実について、この部分は資料2の18ページから持ってきていると思うが、最後の行の市民が共に支え合い助け合う「持続可能な」という言葉が抜けているような感じがするので、それは入れたほうが良いと思う。意図的に抜かしたのかと思ったが、交通インフラの充実のところでは、きちんと「持続可能な」公共交通ネットワークの形成を図ると書いていることから、やはり「持続可能な」という言葉を、防災体制・雪対策の充実の部分にも入れたほうが良いと思う。

○次回の日程等に関する事務連絡を行い解散。